

私立 仙台大学

取組名称 **就職活動コアグループ形成による体育系学生の弱点克服プログラム**

取組担当者 **入試創職部 部長 斎藤 浩二**

1. 本学の概要

本学は、1967(昭和42)年に設置され、東北・北海道地区における唯一の体育大学として、スポーツ科学を専攻する体育学科、身体運動をベースとした健康及び福祉に関する諸科学を専攻する健康福祉学科、栄養とスポーツとの相互作用に関する科学を専攻する運動栄養学科、また、スポーツ情報そのものを戦略的に収集、加工・編集、発信するスペシャリストを養成するスポーツ情報マスメディア学科を設置し、健全な精神と身体を育むとともに体育・スポーツ、健康福祉、運動栄養、さらに情報等の諸科学の理論と実践に関する教育を行い、各界の指導者育成の一翼を担っている。

仙台大学大学院は、多様化、高度化するスポーツと人間の関わりに対する諸問題に科学的に対応できるような高度な学識と高度な研究能力を身につけた健康・スポーツの中核的指導者及び研究者の養成を行っている。



写真1 大学風景

2. 本取組の概要

就職活動における体育系学生の弱点克服と就職マインドの向上を目指す取組である。学内に就職活動のコア集団としての学生のための「就活塾」を設置し、弱点とされるビジネス知識等の基本事項の学習を継続的に実施するとともに、自主ゼミでは自己PR等就活の

実践面で必要とされる技能を演習形式で相互研鑽により強化を目指す。さらにフィールドワークとして企業研究を塾の大きな柱と位置づけ、企業訪問等実践的な活動を実施する。活動から得られた情報を学生による就職情報として学内の学生に発信することにより就活における主体的な行動パターンを体得させる。弱点克服と実践体験により、本来体育系学生の強みであるコミュニケーション能力等を生かした就職活動の展開を可能とすることで、実績の向上を目指す。また学生の中の就活コア集団を拡大させることで就職に対する学生の意識を学生同士の刺激作用によって全学的に向上させ就職実績のアップを目指す。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

極めて厳しい就職環境下において、大学新卒学生に対する就職活動の支援を図り、就職実績の向上に資するため、体育系学生の就職活動における弱点要素の克服を「就活塾」というコア集団を形成し、育成強化をすることにより実現させることを目的とする。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

本学就職支援担当部署である入試創職室のスタッフ及び教学組織として入試創職委員会とその下部組織



写真2 就活塾「CDA有資格者による講座」

である創職作業チームのメンバーが中心となって就活塾のカリキュラムや運営経過の確認等を行っている。塾生の指導に当たってはCDA資格を持つ専門担当者1名を専属で貼り付け、日常的な塾生の個別相談指導も含めた対応を図っている。加えて入試創職室担当者にもCDA資格者がおり、塾開講日の現場での指導のほか塾内容の企画立案及び講師の選考依頼、資料の作成等を担当している。当初予想以上に学生の応募があり、CDA資格者の補強を現在検討している。

5. 本取組の評価体制・評価方法

基本的に毎月開催される「創職作業チーム」において就活塾実施経過報告がなされ、更に上部委員会である「入試創職委員会」において実施状況が確認されている。最終的には月一回開催の教授会において活動状況が報告され、意見等の集約が行われている。

本事業の最終的な評価は、具体的な「就職実績＝採用実績」であり、4年の塾生については、2011(平成23)年3月卒業時点での採用結果を基に創職作業チーム及び委員会で評価を実施する予定である。

3年生に関しては、2011(平成23)年度3月の段階でこれまでの本学学生の説明会参加数との比較等を行い、本事業の成果を数的な面で評価することとしている。最終的には、160名の就活塾3年生の就職実績で評価することとなる。

6. 本取組の実施計画等

初年度となる2009(平成21)年度は正味45日であったため、就活塾塾生の募集と周辺機器の整備を行った。

2010(平成22)年度は4月に入塾希望学生約200名全員と「入塾の目的」「就活に当たり補強したい要素」「進路目標」等の確認のための個別面談を実施し、就活塾における活動意思の確認を実施した。結果4年生20名、3年生16名が就活塾生として登録し、5月23日(日)より計画のとおり「就活能力基礎講座」を開講した。4年生には、企業の採用担当者を講師として「集団面接・個人面接」を実践的に5回開講し、この塾と平行して進行している実際の就職活動に生かすことができるよう極めて実践的な内容の指導を行った。

3年生には「就活能力基礎講座」としては入塾面接で聞き取りを行った「塾生の就活における希望要素」をカリキュラム化し、原則土曜日と火曜日の週2回開講実施した。週2回開講したのは、本学が体育大学で

あるため、土日に試合がある塾生も多く、土曜日に受講できない学生には火曜日に受講できるよう配慮したものである。この就活能力基礎講座では、働くことの意味、就活のイロハ、文章表現能力、履歴書の意味と書き方、話し方、基本的マナー、自己理解等極めて基本的事項を中心にキャリアカウンセラー、キャリアトレーナー、就職情報専門誌担当者、人事採用担当、元アナウンサー等その道の専門家が指導に当たった。又、受講に当たっては、本番への備えを考慮し、全員就活スーツ姿での出席を義務付けた。この就活能力基礎講座は8月中旬まで開講され、後期の開始とともに「ビジネス基礎講座」を開講することとなっている。

9月から12月にかけては、3年生中心に「ビジネス基礎講座」を開講し、これも塾生からの要望が多かった「SPI」「一般常識・時事問題」「企業研究・業界研究」等より実践的な就活要素を座学として学ばせることとしている。更に、11月には首都圏学生の就活意識の確認と、合同説明会への対応力強化を狙って、首都圏で開催される企業合同説明会参加のための「弾丸ツアー」を実施することとしている。加えて、本事業の基本計画でも「自主ゼミ」を開講し、「自己PR」「集団面接」「企業研究」等を10名程度のグループを編成し、実践する予定である。この自主ゼミにはCDA資格を有するキャリアカウンセラーを貼り付け指導に当たる予定である。

就活本番の時期を迎えた3年生(含む4年生)に対し、「個別の就職相談」を徹底することにより就職実績を向上させるため、5月から7月にかけて「個人カルテシステム」を構築し、個人別必要データや面談記録を蓄積できるようにした。今後のこの個人カルテシステムを積極的に活用し、塾生の具体的な就活のサポートを自主ゼミの指導と合わせて実施することとしている。



写真3 就活塾「ビジネス基礎講座」



写真4 就活塾「模擬面接①」



写真5 就活塾「模擬面接②」

